



2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月6日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収
 問合せ先責任者 (役職名) 経営推進本部長 (氏名) 北川 岳史 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 2021年8月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年11月期第2四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	198,879	△24.4	14,499	29.5	15,181	33.3	9,617	70.4
2020年11月期第2四半期	263,057	△2.2	11,194	△30.4	11,385	△32.8	5,643	△40.9

（注）包括利益 2021年11月期第2四半期 13,878百万円（91.9%） 2020年11月期第2四半期 7,232百万円（△24.2%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	67.83	—
2020年11月期第2四半期	39.45	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第2四半期	376,350	265,350	64.2
2020年11月期	451,723	285,377	53.0

（参考）自己資本 2021年11月期第2四半期 241,714百万円 2020年11月期 239,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年11月期	—	20.00	—	—	—
2021年11月期（予想）	—	—	—	25.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	△22.8	27,000	△4.6	28,600	△1.3	15,400	35.3	109.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）株式会社キューソー流通システム
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表および主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期2Q	150,000,000 株	2020年11月期	150,000,000 株
② 期末自己株式数	2021年11月期2Q	9,790,532 株	2020年11月期	6,959,200 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期2Q	141,790,861 株	2020年11月期2Q	143,041,757 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(企業結合等関係)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社キユーソー流通システムの株式を一部売却し持分法適用関連会社へ移行しました。これにより、売上高698億38百万円、営業利益11億7百万円の減少影響が生じています。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の制限などにより、依然として先行き不透明な状況が続いています。

売上については、国内では引き続き内食需要が堅調に推移し家庭用商品の販売が伸長しました。また、海外では新型コロナウイルス感染症から回復基調にあり増収となりました。利益については、売上増加や販売費及び一般管理費の抑制に努めたことなどにより前年を上回りました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)	[参考] 前第2四半期 (遡及後)
売上高	263,057	198,879	△64,178	△24.4%	193,219
営業利益	11,194	14,499	3,305	29.5%	10,088
経常利益	11,385	15,181	3,796	33.3%	10,587
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,643	9,617	3,974	70.4%	5,643

※前第2四半期(遡及後)は、物流事業を除いた遡及適用後の数値を記載しています。

◇ セグメント別の状況

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しています。

- ・国内の「調理・調味料」「サラダ・惣菜」「タマゴ」は「市販用」「業務用」へ再編
- ・「調理・調味料」に含まれていた海外部分を分離し、「海外」を新設
- ・「物流」は持分法適用関連会社へ移行

以下は前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)
市販用	82,339	86,016	3,677	4.5%
業務用	71,698	72,422	724	1.0%
海外	23,141	24,738	1,597	6.9%
フルーツソリューション	8,341	8,624	283	3.4%
ファインケミカル	3,951	4,351	400	10.1%
物流	69,838	—	△69,838	—
共通	3,745	2,726	△1,019	△27.2%
合計	263,057	198,879	△64,178	△24.4%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)
市販用	6,908	9,728	2,820	40.8%
業務用	2,709	2,677	△32	△1.2%
海外	1,933	3,706	1,773	91.7%
フルーツソリューション	239	393	154	64.4%
ファインケミカル	393	87	△306	△77.9%
物流	1,107	—	△1,107	—
共通	734	645	△89	△12.1%
全社費用	△2,831	△2,740	91	—
合計	11,194	14,499	3,305	29.5%

<市販用>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による内食需要の高まりを受け、主力商品を中心に売上高が伸長したことにより増収
- ・売上増加や売上総利益率の改善に努めたことなどにより増益

<業務用>

- ・鶏卵相場上昇の影響により増収となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響から需要の減少に伴う操業度の低下により減益

<海外>

- ・前年度実施した北米タマゴ事業譲渡の影響があったものの、中国・北米調味料の売上増加により増収増益

<フルーツ ソリューション>

- ・家庭用ジャム・スプレッドが堅調に推移したことなどにより増収増益

<ファインケミカル>

- ・通信販売においてヒアルロン酸のサプリメントやスキンケア商品が好調に推移し増収
- ・広告宣伝費の増加および原料販売の不振による生産操業度低下により減益

<共通>

- ・食品メーカー向け製造機械の売上減少により減収減益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,763億50百万円と前連結会計年度末に比べ753億73百万円減少
主に受取手形及び売掛金、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、土地の減少、投資有価証券の増加による
- ・負債は、1,109億99百万円と前連結会計年度末に比べ553億47百万円減少
主に支払手形及び買掛金、流動負債のその他に含まれる未払費用、長期借入金の減少による
- ・純資産は、2,653億50百万円と前連結会計年度末に比べ200億27百万円減少
主に利益剰余金の増加、自己株式の取得、非支配株主持分の減少による
また、当年1月に連結子会社であった株式会社キューソー流通システムの株式の一部売却により、第1四半期連結会計期間から持分法適用関連会社へ移行したことで、総資産1,027億11百万円、負債616億67百万円が減少しています。

◇ キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、609億55百万円と前連結会計年度末に比べ48億21百万円減少
各キャッシュ・フローの状況
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の増加、仕入債務の増加、法人税等の支払いなどにより198億5百万円の収入
(前年同期は167億48百万円の収入)
投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出などにより146億34百万円の支出
(前年同期は147億73百万円の支出)
財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い、自己株式の取得などにより110億13百万円の支出
(前年同期は54億61百万円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2021年1月7日に公表しました2021年11月期の連結業績予想は、本日(2021年7月6日)発表のとおり修正を行っています。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「2021年11月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。修正計画の詳細については、「2021年11月期 第2四半期決算補足説明資料」に記載しています。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,835	52,284
受取手形及び売掛金	73,783	58,081
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	16,214	17,538
仕掛品	1,398	1,008
原材料及び貯蔵品	9,609	9,958
その他	6,696	2,903
貸倒引当金	△523	△119
流動資産合計	174,012	151,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	191,496	159,166
減価償却累計額	△110,485	△91,744
建物及び構築物(純額)	81,011	67,421
機械装置及び運搬具	183,338	148,807
減価償却累計額	△121,934	△105,202
機械装置及び運搬具(純額)	61,403	43,605
土地	52,503	31,175
建設仮勘定	5,352	1,529
その他	29,353	18,089
減価償却累計額	△17,823	△11,976
その他(純額)	11,530	6,113
有形固定資産合計	211,802	149,844
無形固定資産		
のれん	2,014	651
その他	11,497	11,630
無形固定資産合計	13,512	12,281
投資その他の資産		
投資有価証券	27,110	43,421
退職給付に係る資産	9,601	9,809
その他	15,873	9,457
貸倒引当金	△188	△120
投資その他の資産合計	52,396	62,567
固定資産合計	277,710	224,694
資産合計	451,723	376,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,828	29,320
短期借入金	12,153	12,513
未払法人税等	3,901	4,878
引当金	2,781	3,777
その他	25,709	19,788
流動負債合計	86,373	70,278
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	51,861	17,238
退職給付に係る負債	3,619	2,879
資産除去債務	1,218	220
その他	13,274	10,382
固定負債合計	79,973	40,720
負債合計	166,346	110,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	28,647	28,632
利益剰余金	201,492	208,239
自己株式	△15,865	△22,883
株主資本合計	238,379	238,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,882	9,032
繰延ヘッジ損益	△4	28
為替換算調整勘定	△3,408	△1,432
退職給付に係る調整累計額	△4,315	△4,006
その他の包括利益累計額合計	1,153	3,621
非支配株主持分	45,844	23,636
純資産合計	285,377	265,350
負債純資産合計	451,723	376,350

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
売上高	263,057	198,879
売上原価	202,973	137,045
売上総利益	60,083	61,833
販売費及び一般管理費	48,889	47,334
営業利益	11,194	14,499
営業外収益		
受取利息	69	54
受取配当金	246	207
持分法による投資利益	69	418
その他	505	392
営業外収益合計	891	1,072
営業外費用		
支払利息	185	122
支払手数料	147	6
その他	367	262
営業外費用合計	699	390
経常利益	11,385	15,181
特別利益		
固定資産売却益	29	440
関係会社株式売却益	—	289
投資有価証券売却益	9	1
その他	2	43
特別利益合計	41	774
特別損失		
固定資産除却損	542	338
減損損失	49	—
その他	412	84
特別損失合計	1,005	422
税金等調整前四半期純利益	10,421	15,533
法人税等	3,577	4,786
四半期純利益	6,844	10,747
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,201	1,130
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,643	9,617

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	6,844	10,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△157	161
繰延ヘッジ損益	△12	38
為替換算調整勘定	△168	2,433
退職給付に係る調整額	726	280
持分法適用会社に対する持分相当額	—	218
その他の包括利益合計	387	3,131
四半期包括利益	7,232	13,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,136	12,084
非支配株主に係る四半期包括利益	1,096	1,794

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,421	15,533
減価償却費	9,821	7,522
減損損失	49	—
のれん償却額	109	99
持分法による投資損益(△は益)	△69	△418
引当金の増減額(△は減少)	1,250	1,477
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42	△127
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△660	369
受取利息及び受取配当金	△316	△261
支払利息	185	122
固定資産除売却損益(△は益)	525	△37
売上債権の増減額(△は増加)	7,964	△1,640
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,617	△1,233
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,839	1,924
未払金の増減額(△は減少)	△2,139	△1,103
その他	417	1,016
小計	21,146	23,243
利息及び配当金の受取額	318	426
利息の支払額	△187	△126
法人税等の支払額	△4,529	△3,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,748	19,805
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,384	△3,692
無形固定資産の取得による支出	△2,459	△2,383
投資有価証券の取得による支出	△15	△8
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△90	23
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△8,801
長期貸付けによる支出	△293	△1
長期貸付金の回収による収入	27	15
その他	441	212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,773	△14,634
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,106	△116
長期借入れによる収入	2,800	500
長期借入金の返済による支出	△1,556	△1,142
配当金の支払額	△3,576	△2,860
非支配株主への配当金の支払額	△419	△322
自己株式の取得による支出	△0	△7,018
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	△2,913	—
引出制限付預金の引出による収入	—	271
その他	△901	△324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,461	△11,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	973
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,508	△4,868
現金及び現金同等物の期首残高	56,777	65,777
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	47
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,268	60,955

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

事業分離

当社は、2021年1月7日の取締役会決議により、当社の連結子会社である株式会社キユーソー流通システム（以下、「KRS」）の株式の一部を売却することを決定し、2021年1月18日に立会外分売により株式譲渡を行いました。これに伴い、KRSおよび同社の子会社である下記14社（以下、「KRSグループ」）は、第1四半期連結会計期間の期首より当社の連結子会社から持分法適用関連会社へと変更になりました。

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. キューソーティス株式会社 | 8. キューソーアレスト株式会社 |
| 2. 株式会社エスワイプロモーション | 9. 株式会社フレッシュデリカネットワーク |
| 3. キューソーサービス株式会社 | 10. 株式会社久松運輸 |
| 4. キューソーロジック株式会社 | 11. PT Kiat Ananda Cold Storage |
| 5. 株式会社サンエー物流 | 12. PT Ananda Solusindo |
| 6. 株式会社サンファミリー | 13. PT Manggala Kiat Ananda |
| 7. 大阪サンエー物流株式会社 | 14. PT Trans Kontainer Solusindo |

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

立会外分売のため、記載を省略します。

(2) 分離した事業の内容

連結子会社	株式会社キユーソー流通システムおよび同社の子会社14社
事業の内容	倉庫業および運送取扱業

(3) 事業分離を行った主な理由

KRSは、1966年に当社の倉庫部門を母体に設立以来、高品位で競争力のある食品物流サービスの提供を通じて、当社グループの事業展開に貢献しました。

近年、食品および物流を取り巻く事業環境が大きく変化するなか、当社およびKRSの今後の事業展開について、両社のさらなる成長を見据え検討を重ねました。

その結果KRSにおいては、当社との親子関係を解消し迅速な意思決定と戦略的投資の主体的判断を可能としたうえで、これまでの国内での食品向け総合物流サービスの提供をさらに向上させること、また海外での拡大を積極的に展開し従来以上に独自性を持った成長戦略を推し進めることが、企業価値向上に資するとの考えに至りました。

一方、当社においては「めざす姿」（※注）の実現に向けて、国内・海外の食品事業に経営資源の一層の集中を進めることが将来にわたる企業価値の向上に資すると判断しました。

以上を鑑み、KRS株式の一部売却を行うこととしましたが、当社とKRSは引き続き商品の製造からお届けまでの一貫した物流品質の考え方を共有するとともに、KRSは当社グループの物流を担います。

今後も、食品製造と物流機能において強固なパートナーシップを維持し、両社の持続的な企業価値向上に努めます。

(※注) 私たちは「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって、世界の食と健康に貢献するグループをめざします

(4) 事業分離日

2021年1月18日（株式譲渡実行日）

2020年12月1日（みなし譲渡日）

(5) 法的形式を含む取引の概要

受取対価を現金等の財産のみとするK R Sの発行済株式の一部譲渡

(6) 譲渡株式数および譲渡後の所有株式の状況

譲渡株式数 253,600株
譲渡後の所有株式数 5,420,402株 (議決権所有割合: 43.6%)

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

関係会社株式売却益 289百万円

(2) 移転した事業に係る資産および負債の適正な帳簿価額ならびにその主な内訳

流動資産	32,347百万円
固定資産	70,363百万円
資産合計	102,711百万円
流動負債	32,314百万円
固定負債	29,352百万円
負債合計	61,667百万円

(3) 会計処理

K R Sグループの連結上の譲渡持分に係る帳簿価額と譲渡価額との差額を関係会社株式売却損として処理するとともに、過年度において当社および当社の連結子会社がK R Sに売却した土地の未実現利益のうち本株式譲渡により実現した利益を関係会社株式売却損益の修正として処理した結果、「関係会社株式売却益」として特別利益に計上しています。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

物流事業

4. 当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

持分法による投資利益 372百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツソリューション	ファインケミカル	物流	共通	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高										
外部顧客への売上高	82,339	71,698	23,141	8,341	3,951	69,838	3,745	263,057	—	263,057
セグメント間の内部売上高又は振替高	352	2,295	550	448	217	15,312	4,903	24,081	△24,081	—
計	82,691	73,994	23,691	8,790	4,169	85,151	8,649	287,138	△24,081	263,057
セグメント利益	6,908	2,709	1,933	239	393	1,107	734	14,025	△2,831	11,194

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,831百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年12月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への 売上高	86,016	72,422	24,738	8,624	4,351	2,726	198,879	—	198,879
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	374	2,507	248	87	229	5,452	8,901	△8,901	—
計	86,391	74,930	24,986	8,712	4,580	8,179	207,781	△8,901	198,879
セグメント利益	9,728	2,677	3,706	393	87	645	17,240	△2,740	14,499

(注)1. セグメント利益の調整額△2,740百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2021年度からの4年間を対象とする中期経営計画に基づき、お客様や市場のニーズ、環境変化に対応するために事業担当制から市場を軸とした体制に移行したため、報告セグメントも以下のとおり変更しています。

事業区分の変更

- ・国内の「調理・調味料」「サラダ・惣菜」「タマゴ」は「市販用」「業務用」へ再編
- ・「調理・調味料」に含まれていた海外部分を分離し、「海外」を新設
- ・「物流」は持分法適用会社へ移行

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)
該当事項はありません。